

## 川口市とハローワークの一体的実施

### 川口市「就労支援コーナー」



市役所庁舎内に「就労支援コーナー」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者に対する一体的支援等を実施

市役所の生活福祉課窓口の隣に「就労支援コーナー」を設置。市と国の職員が連携しつつ、市役所に訪れる市民に対する福祉から就労までの支援をワンストップで実現。

#### 主な支援内容

- ・生活保護の申請者・受給者、住宅手当受給者、ひとり親家庭の父・母等の生活困窮者に対する支援
- ・求人開拓の実施
- ・セミナーの開催

## 一体的な支援による就職成功事例

男性：52歳 希望職種：倉庫業（フォークリフト）  
直近の雇用形態 正社員（雇用期間1年）  
→ 生活保護受給者で「就労支援コーナー」を訪れ、支援を開始

### ① 抱える課題

・体調不良がきっかけで会社を休むようになり解雇された。1年間雇用保険を受給したが、貯えもなく生活保護を申請。一時就労したことにより生活保護が廃止となるも、再度生活保護となり数年経過した。市のケースワーカーが就職に有利になるようフォークリフトの資格を取得するよう勧め取得するも、不採用が続いていた。

### ② 支援内容・ポイント・経過

・就労への意欲を有しつつも、労働条件に強いこだわり（月収、雇用形態、業務内容）があり、応募するたびに不採用であった。このため、労働市場の状況についてくりかえし説明を行うことにより、不採用の原因がどこにあるのか？就職環境の現実はどうか？といったことへの理解を促し、月収などの労働条件を見直すこと、効率的に計画を立てて求職活動を行うこと等についてアドバイスを行った。

### ③ 結果

・工場内でのフォークリフトの荷物積み込み作業の会社に正社員として採用。（支援期間：2ヶ月）

### ④ ハローワークの担当者の所感

・生活保護を一度は廃止したものの、再び健康上の問題で生活保護を受給したため働くことに慎重であったが、市のケースワーカーがフォークリフトの資格取得を勧めるなど就労への道筋をつけ、ハローワーク相談員からは就職するためにどうすればよいか適切にアドバイスを行うなど、市とハローワークの一体的実施による連携が採用につながった。

## 新宿区とハローワークの一体的実施

### 新宿就職サポートナビ



区役所庁舎内に「新宿就職サポートナビ」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

福祉担当課が入居する庁舎に「新宿就職サポートナビ」を設置。身近な区役所で、完全予約制・担当者制で国の職員が対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

#### 主な支援内容

・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者及び生活保護の相談・申請段階の方々に対する支援

## 一体的な支援による就職成功事例

女性：56歳 希望職種：営業事務

### ○ 本人の状況・背景

- ・勤務中のエコシステム販売会社の支店閉鎖により失職。アルバイトで生活していたが、行き詰まり保護申請。

### ① 抱える課題

- ・営業職希望も年齢が高いことがネックとなっていた。

### ② 支援内容・ポイント・経過

- ・職業訓練校でパソコンの基本操作（ワード・エクセル・パワーポイント）を習得済みであった。
- ・多種の職種を経験し、コミュニケーション能力も高い点を強調し、求職活動を持続する意欲を勇気づけた。
- ・職務経歴書の内容を根本から見直し、アピール度の高いものに仕上げた。

### ③ 結果

- ・墓石販売会社受付事務、営業補佐で正社員採用  
※支援期間 2カ月

### ○ 本人のコメント

- ・何度応募しても採用されず、事務の仕事はあきらめかけていたが、ナビゲーターの励ましを得て頑張った結果、採用が決まり、とても嬉しく感謝している。

### ○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・あきらめずに十数件の応募を継続しつづけたため、念願の営業事務の仕事に採用となった。

## 総社市とハローワークの一体的実施

### 総社市「就労支援ルーム」



ハローワーク内に「就労支援ルーム」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者、障がい者、日系外国人等に対する一体的支援等を実施。

ハローワーク内の「就労支援ルーム」で、市と国の協働で「就労支援チーム」を構成し、付き添い型の綿密な支援を実施。福祉から就労への支援を実現。

#### 主な支援内容

- ・市とハローワークの担当で「就労支援チーム」を結成し、生活保護受給者、障がい者、日系外国人等に対する就労支援を実施（個々の利用者に応じた「就労支援プラン」を策定）
- ・その他、心理カウンセリング等の「心の相談」なども実施

## 一体的な支援による就職成功事例

男性：46歳 父子家庭の父（児童扶養手当受給中）

希望職種：土木施工関連の営業、その他

### ○ 抱える課題

- ・雇用保険失業給付の受給資格がない。
- ・1年5カ月の就労ブランクがある。
- ・3人の子供をもつ父子家庭の父であり、児童扶養手当を受給している。

### ○ 支援内容・ポイント・経過

- ・生活保護申請にかかる市との連携。
- ・本人、市自立支援員、HW相談員3者を交え、綿密なキャリアコンサルティングを実施。職務経験の棚卸、本人の希望の聴き取り、できる職務の見える化により、再就職に向けた方向性を明確にし3者で共有。
- ・父子家庭の父であることから、応募の際は助成金による事業主支援について説明。

### ○ 結果

PCハード及びソフト販売会社 職種：営業（土木建設業者向け積算システムの営業） 正社員  
※支援期間4か月

- ・就職後、市と連携し職場定着指導実施。
- ・生活保護から脱却の見込み。

### ○ ハローワークの担当者の所感

再就職に向けた方向性について明確にできたこと、本人、市自立支援員、HW相談員3者が方向性について共有できたことにより、求人情報提供、職業相談が円滑となり、また就業意欲を持続できた。

## 佐賀市とハローワークの一体的実施

### えびすワークさがし



市役所庁舎内に佐賀市福祉・就労支援コーナー【愛称「えびすワークさがし」】を開設し、市とハローワーク佐賀による生活困窮者、障がい者等に対する一体的支援を実施。

福祉・就労支援室を設置し、専任の室長を中心に関係課の兼務職員、就労支援相談員等及びハローワークのナビゲーターで就労支援チーム結成し、身近な市役所で福祉から就労までの支援を実現。

#### 主な支援内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者等の生活困窮者及び母子家庭の母などに対する支援
- ・障がい者に対する支援
- ・その他、福祉事務所の福祉サービス対象者に対する支援

## 一体的な支援による就職成功事例

女性：40歳代後半 希望職種：介護職、清掃等  
直近の状況：期間労働者（契約期間満了）

### ○ 生活保護に至る過程

母子家庭で子供が小さかったため生活保護へ。また、右手に軽度の障害があることを理由として、生活保護が受給できる範囲で、軽作業等を主としたパート就労を繰り返す。

#### ① 抱える課題

- ・希望職種と応募求人の相違のため職种的に定まらない。
- ・継続雇用可能であるにも関わらず、特に就労に対して問題がない体調で、不安とのこと。
- ・子供も成長し、特に家庭的にも課題がないものの、元夫（生活保護受給者）からの助言もあり、就労意欲が見られない。

#### ② 支援内容・ポイント・経過

- ・就職支援ナビゲーター（以下、ナビ）と市の就労支援員による意欲喚起を行うようにチーム支援会議を実施し、就労への助言や指導を行う。
- ・元夫に依存性が見られてるため、就労に対して、強く市側とナビが連携して、指導相談等を実施する
- ・ナビから、短期雇用求人ではなく継続的（更新求人含め）に就労できる軽作業を含めた求人情報の提供を行う。

#### ③ 結果

- ※チーム支援期間 7か月  
農協で食品受入、仕分け保管の業務に採用
- ・正社員以外（フルタイム）での就職を実現
  - ・就業時間 7時間30分/日 日勤 週休2日制
  - ・採用後、就労安定状況により生保自立（脱却）

## 青森県とハローワークの一体的実施

# ヤングジョブプラザあおもり



「ハローワークヤングプラザ」（国）、  
「ジョブカフェあおもり」（県）、  
「青森県若者サポートステーション」（国委託）

の3施設を「ヤングジョブプラザあおもり」として一体的運営を実施し、若年者の就職支援の機能強化を図る。

青森の厳しい雇用情勢に対応するため、都道府県では全国で初めて各施設を一体的に運営し、窓口の一本化、チーム支援の実施等により、学卒者を含めた若年者の就職支援を強化。

### 主な支援内容

- ・来所者の利便性を高めるための総合案内窓口の設置
- ・チーム支援の実施等を通じた若年求職者に対する一貫した就職支援の実施

## 一体的な支援による就職成功事例

男性：30歳代 希望職種：サービス業（販売・調理等）  
直近の状況：非正規労働（アミューズメント接客）

- ① 抱える課題
  - ・本人は、サービス業を希望しているが、給与が高ければ職種は問わない等、漠然とした考え方で職種等を絞り切れていない。
  - ・給与以外についての、仕事に対する希望条件や優先順位が明確化されていない。
- ② 支援内容・ポイント・経過
  - ・ジョブカフェにおいて初期に実施した適性診断の結果から、本人に自分の適性を認識してもらうとともに、職業理解を促す。
  - ・具体的に希望職種が見えないため、興味がある労働市場についてハローワーク窓口にて説明。
  - ・職業選択するに当たり、優先順位を明確にし、調理師資格を活かせる仕事を中心に、応募活動を薦めた。
  - ・調理に関する仕事へは、5年ほど就いていなかったが、調理への思い及び仕事への取組姿勢をメインに書類作成・面接対策の支援を行った。

- ③ 結果 ※支援期間 2ヶ月
  - 飲食店調理師として正社員採用**
  - ・調理師
  - ・一日4～8時間 シフト勤務週40時間 月給約15万円

## 京都府とハローワークの一体的実施

### 京都ジョブパーク



京都ジョブパークを拡充し、京都府の実施する総合就業支援業務と、職業紹介・職業相談等のハローワーク業務を一体的に実施。

利用者目線に立った一体的実施により、ワンストップサービスの充実・強化を図り、求職者への生活・就業支援や求人企業向け支援を実現

#### 主な支援内容

- ・ 京都ジョブパークを利用する一般求職者に対し、カウンセリングや職業紹介・職業相談等の就職支援を実施
- ・ 求人企業に対し、求人受付やコンサルティング・セミナー等の支援を実施

## 一体的な支援による就職成功事例

女性：20歳代 希望：事務系職種

### ① 本人の状況・背景・来所に至る経過

- ・ 未就職のまま大学を卒業し、その後非正規雇用での仕事を繰り返す。
- ・ 事務職の経験は6ヶ月間のインターンシップのみ。
- ・ 事務職の正社員を目指し、京都ジョブパークでの就職活動を開始。

### ② 抱える課題

- ・ 事務系職種で就職を希望するが事務経験が浅い。
- ・ 事務職に必要なレベルのコンピュータ技能がない。
- ・ 働いた経験も少なく、社会人基礎力が不足している。

### ③ 支援内容・ポイント・経過

- ・ 担当カウンセラー（京都府）から社会人基礎力養成とパソコンスキルに主眼をおいた職業訓練の受講を提案し、就職支援ナビゲーター（ハローワーク）へ引き継ぐ。
- ・ 住所を管轄するハローワークへ足を運ぶことなく、カウンセリング後に京都ジョブパーク内ハローワークコーナーで、訓練受講申込、受講指示を実施。
- ・ 2ヶ月間の訓練受講により、社会人基礎力・パソコンスキルを身につけ、企業が求めるヒューマンスキルを習得。さらに、訓練と並行して担当カウンセラーによるカウンセリングを実施することで、就職へのモチベーションを維持する。

### ④ 結果

- ・ ハローワークコーナーの紹介で病院総合受付の正社員求人に応募。
- ・ 訓練で習得した社会人基礎力・パソコンスキルにより内定獲得。

### ○ 担当カウンセラーの所感

不足していた社会人基礎力を訓練により習得、さらに訓練と並行して京都ジョブパークでのカウンセリングとハローワークコーナーからの情報提供によりマッチングに繋がった。